

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

917

地域生活支援事業

[長期総合計画]

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政策	7	健康で元気に暮らせる環境づくり
施策	4	保健医療対策の推進
取組方針	4	精神保健対策の充実

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務		法定受託事務	○
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	衛生費		
	項	保健衛生費		
	目	保健所費		
	大事業	保健所事業		
中事業	地域生活支援事業			

事業種別	継続		関連個別計画	障害者福祉計画 地域保健医療計画		
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	保健対策課	豊田 忠彦 488-5104
事業実施の根拠法令	障害者総合支援法		関連課	障害者支援課		

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要				
	精神障害のある方に対し、スポーツ活動やレクリエーション活動を行い、相互に交流する場を保障し社会参加や自立の促進を図る。また精神障害者ボランティアの育成を通して、精神障害者福祉の向上を図る。		精神障害のある方に対し、所内に地域生活支援ルームを設置し、生活訓練等を行い精神障害者リハビリテーション活動を行う。そしてボランティア活動や精神障害者家族への支援を行い、精神障害のある方の社会参加促進に関する活動を行う。また精神障害者スポーツ活動としてボウリング交流大会を実施し精神障害者福祉の向上を図る。				
事業内容			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度
			地域生活支援ルーム運営事業、ボランティア活動支援事業、レクリエーション活動事業、認定調査事業、精神障害者ボウリング大会開催事業等を実施した。	地域生活支援ルーム運営事業、ボランティア活動支援事業、レクリエーション活動事業、認定調査事業、精神障害者ボウリング大会開催事業等を実施した。	地域生活支援ルーム運営事業、ボランティア活動支援事業、レクリエーション活動事業、認定調査事業、精神障害者ボウリング大会開催事業等を実施した。	地域生活支援ルーム運営事業、ボランティア活動支援事業、認定調査事業、精神障害者ボウリング大会開催事業、精神障害者家族支援事業等を実施する。	地域生活支援ルーム運営事業、ボランティア活動支援事業、認定調査事業、精神障害者ボウリング大会開催事業、精神障害者家族支援事業等を実施する。

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和02年度		
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	
事業費	2,630	2,529	2,502	2,396	2,451	2,433	2,915	0	2,915	0	
伸び率(%)	16.3%	12.5%	△4.9%	△5.3%	△2%	1.5%	18.9%	△100%	0%	0%	
人件費	正規職員	11,684	21,619	21,695	23,769	23,657	26,294	27,093	0	27,093	0
	正規職員以外	1,364	3,146	3,905	4,336	4,535	5,603	4,915	0	4,915	0
	小計	13,048	24,765	25,600	28,105	28,192	31,897	32,008	0	32,008	0
国庫支出金	1,067	795	1,150	652	1,225	678	1,453	0	1,453	0	
県支出金	533	671	576	497	549	656	675	0	675	0	
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
一般財源(税等)	1,030	1,063	776	1,247	677	1,099	787	0	787	0	
所要人数(人)	正規職員	1.47	2.72	2.72	2.98	2.96	3.29	3.39	0.00	3.39	0.00
	正規職員以外	0.62	1.43	1.72	1.91	1.91	2.36	2.07	0.00	2.07	0.00
主な予算内訳	報酬 6,984千円 委託料 1,606千円 共済費 1,172千円										

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
精神保健福祉ボランティア登録者数		人	目標値	50	50	50	50	50
			実績値	39	38	33		
			達成度(%)	78%	76%	76%	0%	%
地域生活支援ルーム登録者数		人	目標値	23	23	23	23	23
			実績値	19	20	25		
			達成度(%)	82.6%	86.9%	86.9%	0%	%
精神保健福祉ボランティア利用者数		件	目標値	720	720	720	720	720
			実績値	721	720	720		
			達成度(%)	100.1%	100%	91.6%	0%	%
地域生活支援ルーム参加延べ人数		人	目標値	1600	1200	1100	1100	1100
			実績値	1069	1106	1008		
			達成度(%)	66.8%	92.1%	84.3%	0%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	○	おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	精神障害者の保健及び福祉に関する総合的な施策のうち、地域生活支援の充実に関する様々な事業により、精神障害者が社会復帰をし、自立と社会経済活動へ参加することができるように支援を行う義務があるため。
見直し・改善内容	<p>地域生活支援ルーム事業に関して、利用の促進を図るためさらに関係機関への周知を図る必要がある。</p> <p>地域生活支援ルーム事業に関して、利用日数に関して利用者の意向を聞き取り、新規利用者が参加しやすいよう柔軟に対応することとする。</p> <p>精神障害者スポーツ大会（ソフトバレーボール）については、県事業と統合を図ることとした。</p> <p>精神障害者ボウリング交流大会に関して、継続した取組みが必要である。</p> <p>精神障害者ボランティア育成事業に関しては、委託事業者との協働を行い継続した取組みを続けなくてはならない。</p> <p>平成31年度から、精神障害者家族支援事業について精神保健福祉関係事業から移行している。</p>